**「Sherman」（シャーマン）**

**小さなロボットに秘められたスーパーパワー**

**MB&F + L’Epée 1839**

Shermanについてご紹介します。とてもキュートで小さなこのロボットですが、正直なところ、あまり多くのことはできません。ほとんど何もできないと言ってもいいでしょう。

歩くことも、話すことも、自動車の溶接も、火星の探索も無理。サラ・コナーを殺しに行くこともないし、ルーク・スカイウォーカーを手助けすることも、ウィル・ロビンソンに警告を発することも、床に掃除機をかけることも、長編映画に主演することも、法律を執行することもありません。

実際、Shermanができることは2つだけ。しかしこの2つを完璧に実行します。

Shermanの2つの機能とは、まず時刻を知らせること。そして人々に笑顔をもたらすこと。この点では恐らく、世界で最も役に立つ、そして（精神面において）価値の高い複雑機構だといえるでしょう。まさにスーパーパワー！

Shermanは、MB&Fが考案・開発し、スイスで唯一の高性能時計製造に特化したメーカーであるL’Epée 1839が設計と製造を手がけました。マクシミリアン・ブッサーは、ロボットの友達が欲しいという子供の頃の夢を実現するために絶えず探求を続けた結果、Shermanが誕生したのです。

Shermanは、8日間パワーリザーブを備えたL'Epée 1839の直列ムーブメントを搭載。これによって、このキャタピラ走行する親しみやすい置時計は、胸の部分に正確な時刻を表示し、次に巻き上げが必要になるまで1週間以上にわたって作動します。

但し、Shermanは単にロボット内部に備え付けられた時計ではなく、全体が一体型となったロボットクロックです。主ゼンマイ香箱のブリッジが下方向に伸びてキャタピラを支え、ムーブメントのスペーサーはロボットのアームの肩、調速機を支えるボルトのヘッドは目を構成。さらに時計のムーブメントの地板とブリッジが、ロボットのスケルトン部分とボディを形作っています。

Shermanの頭はドーム型の透明な吹き成形ミネラルガラスで覆われ、機械でできた頭脳を見ることができますが、この部分は実際にはロボットの時刻表示の精度を調整する調速機となっています。この小さなロボットが「考える」姿は、見る人を魅了するでしょう。

またアーム部分は様々な方向に操作することができ、手を使ってペンやロボット自身の巻き上げキーなどをつかむこともできます。

Shermanは歩くことはできませんが、非常に機能的なゴム製キャタピラを備えており、友だちがちょっと助けてあげれば、オフィスのデスクなどのでこぼこした場所で移動することも可能です。

このようにShermanのロボットおよび時計としての機能は偉業と呼べるほど優れたものですが、それよりもっと素晴らしいのは、どこにいっても人に幸せをもたらし、感情に訴えかけるスーパーパワーでしょう。

ブッサーは次のように語っています。「遠い昔、はるか彼方の銀河系で、人々の真の友はロボットだった...。10歳の頃、スター・ウォーズのファンだった私は、R2-D2のようなドロイドがいなければルーク・スカイウォーカーは絶対に戦いに勝てないと分かっていました。この忠実で機知に富んだ勇敢なロボットが、いつも仲間を助けていたのです。私は一人っ子だったため、ロボットの友達が欲しいと夢見たものでした。Shermanは（以前に製作されたMelchiorのように）、そんな子供時代の空想を実現してくれるのです。」

**Shermanは、パラジウムメッキモデル200点、ゴールドメッキ（ゴールドプレート加工）モデル200点、ダイヤモンドをセットしたゴールドメッキモデル50点の限定発売。**

**Shermanの詳細**

Shermanの計時機能

MB&Fが提供したデザインに基づき、L’Epéeが8日間パワーリザーブを備えた同社の直列ムーブメントを構造の基盤として使用し、Shermanのボディを開発しました。

ドーム型の透明なガラスの内側には、Shermanの頭、すなわちテンプと脱進機で構成されるムーブメントの調速機が収められています。この調速機はインカブロック耐震装置を備えているため、ロボットの移動時や運搬の際の損傷リスクが最小限に抑えられます。腕時計のムーブメントが耐震機構を備えているのは普通ですが、通常、固定して使用する置時計ではめったにないことです。しかしShermanは普通の置時計ではありません。世界を幸福にするという使命を担ったロボットなのですから。

Shermanのムーブメントには、コート・ド・ジュネーブ仕上げや面取り、ポリッシュ仕上げ、サンドブラスト仕上げ、サーキュラーおよびバーティカル・サテン仕上げなど、最高級の腕時計と同様の精密で見事な仕上げが施されています。但し置時計の場合、腕時計に比べて部品が大きく、従ってその表面積も大きいため、ムーブメントの精密仕上げは格段に難しくなります。

Shermanのスーパーパワー

Shermanはロボットにしては小さいかもしれませんが、人々に笑顔をもたらして周りを幸せにするという、極めて強力なスーパーパワーを秘めています。このShermanのスーパーパワーは、何よりも素晴らしい力です。というのも笑顔は人から人へと広がってゆくもので（誰かがにっこり笑うと、それがきっかけになって周囲の人々も次々に笑顔になる）、笑顔による効果は、ストレスや不安の軽減、エンドルフィンやドーパミン、セロトニン（体内で分泌されて気分の高揚をもたらす天然の化学物質）の分泌促進、（白血球数の上昇による）免疫系の強化、親しみやすい雰囲気を作る、心拍数を下げて体をリラックスさせる、外見を若々しく演出する、寿命を延ばす、人を引き付ける魅力を高めるなど多彩だからです。

Shermanは資格を持つ医師ではなく、そう主張するつもりもありませんが、彼と接する人々全員を幸せに、そして健康にする力を持っているのです。このような力を持つロボットはごく少数ですし、置時計となるとなおさら、ほとんど存在しないでしょう。

Shermanの名前

Shermanという名前は、このロボットのキャタピラの足回りから想像できるように、第二次世界大戦中に量産され、米軍と同盟国が使用したM4シャーマン戦車に由来しています。このシャーマン戦車は、技術面では戦争末期に開発された大型でより強力な戦車に及びませんでしたが、非常に信頼性が高く、また生産が容易である点から、引き続き配備されました。少数の大型で複雑な戦車を格納庫に収容しておくよりは、大量の小型戦車を実戦に投入するほうが優れた戦略なのです。

この戦車の公式名はM4中戦車ですが、ウィリアム・テクムセ・シャーマン将軍にちなんで、イギリス軍からはM4シャーマンという通称で呼ばれていました。シャーマン将軍は、アメリカ南北戦争（1861年-1865年）の西部戦線において（ユリシーズ・S. グラント将軍の後任として）北軍を指揮し、その後グラント将軍が大統領に就任した際には陸軍総司令官を務めた軍人です。

イギリスの軍事史研究家、B. H. リデル・ハートは、シャーマン将軍のことを「最も近代的な将軍」と称していました。

名前の由来は戦争時に遡るかもしれませんが、Shermanが平和を愛するロボットであることは間違いありません。Shermanが誇る最も強力な武器は、周りの人々に幸せと満面の笑みをもたらすことなのですから。

**Sherman：技術仕様**

Shermanは、パラジウムメッキモデル200点、ゴールドメッキ（ゴールドプレート加工）モデル200点、ダイヤモンドをセットしたゴールドメッキモデル50点の限定発売。

**表示**

Shermanの胸の部分に時、分表示

**サイズ**

寸法：143mm（高さ）x 109mm（幅）x 80mm（奥行）

重量：0.9kg

**ボディ/フレーム**

以下のモデルからお選びいただけます：パラジウムメッキモデル（ポリッシュ仕上げのシルバーカラー）； パラジウムメッキを施した輪列（歯車機構）とニッケルメッキのテン輪を備えたゴールドメッキモデル； ロボットの目、アワーマーカーおよび頭の周囲にVVSグレードのハイクオリティ ダイヤモンド735個 をセットし、ボディとムーブメントにゴールドメッキを施したモデル。

ドーム/頭：吹き成形ミネラルガラス

**ムーブメント**

L’Epéeの自社設計・製造による8日間パワーリザーブを備えた直列ムーブメント

テンプ振動数：2.5Hz／毎時18,000振動

パワーリザーブ：8日間

ムーブメントの部品数：148個

石数：17

インカブロック耐震装置

ムーブメントの仕上げ：コート・ド・ジュネーブ仕上げ、面取り、ポリッシュ仕上げ、サンドブラスト仕上げ、サーキュラーおよびバーティカル・グレイン仕上げ、サテン仕上げ

巻き上げ：時計の裏側で、二重構造のスクエアソケットキーによる時刻調整およびムーブメントの巻き上げ

**MB&F－コンセプトラボの誕生**

***10年の歴史、11種のキャリバー、幾多の達成、無限のクリエティビティー***

2015年、MB&Fは10周年を迎えます。史上初のオロジカル・コンセプトラボが経験した豊かな10年です。MB&Fを一躍有名にした、かの有名なオロロジカル・マシンとレガシー・マシンを構成する11個のキャリバーが象徴する、極限の創造性の10年と言えます。

15年間高級時計ブランドのマネージメントに徹したマキシミリアン・ブッサーは、2005年にハリー・ウィンストンのマネージングディレクターを辞任し、MB&F（マキシミリアン・ブッサー＆フレンズ）を設立。MB&Fは、ブッサー氏が尊敬しコラボレーションを共に楽しむ才能あるオロロジカル職人を集め、先鋭的なコンセプトの腕時計デザインと小規模の製作を行う、アートとマイクロエンジニアリングのラボです。

2007年、MB&Fは初のオロロジカル・マシンHM1を発表。HM1の彫刻のような3次元ケースと美を追求して仕上げられたエンジン（ムーブメント）は、奇抜とも言えるその後の同社オロロジカル・マシンの基準となりました。HM2、HM3、HM4、HM5、HM6、そしてHMX。すべては時刻を告げるためだけのマシンではなく、自らが時を知るマシンなのです。

2011年にはMB&Fはラウンドケースのレガシー・マシン・コレクションを世に送り出しました。MB&Fの視点から言えばよりクラシカルなこのラインアップは、現代的な芸術作品に仕上げる上で、過去の偉大なオロロジカル革新者が生み出した複雑エンジンを新たに解釈し直し、19世紀の優れた時計製造技術を讃えています。LM1とLM2に続いて発表されたLM101は、完全自社開発したムーブメントを搭載している初のMB&Fマシンとなりました。2015年は完全一体型のパーペチュアルカレンダーが特徴のLegacy Machine Perpetualを発表。MB&Fは、現代的かつ非常に斬新なオロロジカル・マシンと、時計製造の歴史をインスピレーションの源とするレガシー・マシンを交互に発表しています。

MB&Fは、オロロジカル・マシンとレガシー・マシンの他にも、リュージュとのコラボレーションによる宇宙時代を象徴したオルゴール（MusicMachines 1、2、3）や、宇宙ステーションをイメージしたフォルムの独特な置時計（StarfleetMachine）、クモをモチーフにした時計 (Arachnophobia)、さらに2つのロボットクロック（MelchiorとSherman）を製作しています。

またMB&Fの軌跡における、その革新的な本質を証明する受賞機会もありました。すべてを網羅することはできませんが、2012年の「ジュネーブ時計グランプリ」では、レガシー・マシンNo.1が「パブリック賞（オロロジーファンによる投票）」と「最優秀メンズウォッチ賞（プロの審査員による投票）」を受賞。2010年の同グランプリでは、HM4サンダーボルトで、「最優秀コンセプト＆デザインウォッチ賞」を受賞。そして2015年には、HM6スペースパイレートが、国際的な「レッドドット・デザイン賞」において最高位の「レッドドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞しました。

**L’EPEE 1839 –スイス第一級の時計製造所**

L'Epéeは175年以上、時計製造の第一線で活躍してきました。今日、高性能時計製造を専門とするスイス唯一の製造所です。Auguste L’Epée(オーギュスト・レペ) がブザンソン近郊で1839年に創業したL'Epéeは当初、オルゴールと腕時計の構成部品製造に携わっていました。L’Epéeの顕著な特徴は、全ての部分が手作りであることです。

1850年以来、製造所は目覚まし時計、置時計、ミュージカルウォッチに特化したレギュレーターのメーカーとなり、「プラットフォーム」エスケープメント生産においてリーダーシップを発揮しました。1877年までに、年間24000点のプラットフォームエスケープメントを製造していました。同製造所は、アンチノッキング、オートスタートそしてコンスタントフォースエスケープメントなど特殊なエスケープメントの特許を多数保有する著名な専門メーカーであり、また現在世に知られている複数の腕時計メーカーへのエスケープメントのサプライヤーでもあります。L'Epéeは、国際展示会において数々の金賞を獲得しています。

20世紀には、L'Epéeは最高級旅行用携帯時計でその評判を高めましたが、多くの人にとってL'Epéeは影響力と権力を持った人が所有する時計であり、フランス政府関係者から上流階級ゲストへの贈与品としても選定されていました。 1976年にコンコルドが超音速航空機として商業就航した際には、L'Epéeの柱時計が客室の装備時計として選定され、乗客への時間の視覚的フィードバックに使われていました。 1994年には、L'Epéeはチャレンジ精神に突き動かされ、調整された振り子が付いた世界最大の時計Giant Regulator(ジャイアント・レギュレーター)を構築しました。 高さ2.2メートル、重さ1.2トン、機械式ムーブメントだけでも120キロの重さがあるこの時計製造には、2800人時の作業を要しました。

L'Epéeは現在、スイス、ジュラ山脈のドレモンに拠点を置いています。L’Epée1839は CEOのアルノー・ニコラス主導の下、洗練されたクラシックな旅行用時計、現代のデザインクロック（Le Duel）、およびアバンギャルドなミニマリスト時計（La Tour）ラインナップを含む、最高級置時計のコレクションを展開しました。 L’Epéeの時計は、レトログラード・セコンド、パワーリザーブインジケーター、万年カレンダー、トゥールビヨン、および打鈴機構を含むコンプリケーションを特徴としており、すべてが社内でデザイン・製造されています。 超長時間のパワーリザーブは、最高水準の仕上げと共にブランドのシグネチャーとなっています。